

## 第 24 回青年対策交流集会に参加して

2月29日から3月2日にホテルクライトン新大阪にて開催された第24回青年対策交流集会に関東地方から8名参加させていただきました。

松永中央書記長による「港湾産別について」の講義では、労働組合の強さ、港湾産別の大切さを学び、自分だけ良ければ良いと考えてしまうとそこで止まってしまう、自分の子供たちにも残せる魅力ある港湾とのお言葉を聞き、今後の組合活動に対する熱意が高まりました。畠山中央副執行委員長による「労基法について」の講義では、自分の労働条件を守るためには知識が無ければたかえない事を学び、答えだけではなく、内容まで理解する事が大切だと思いました。そして、畠山中央副執行委員長と松永中央書記長の講義を受け、知識を蓄えるだけでなく伝えて広げていく事が大事であり、歴史が続いていく事だと感じました。

大阪IRについては、動画やグラフ等をプロジェクターを使い説明していただいた関西地本の学習会がとても分かりやすく、予定を大幅に上回る施工費や他国のカジノ施設と比較するととても現実味のない予想収益をみて、負の遺産となってしまうのではないかと思いました。横浜でもカジノ問題があった事と今回大阪で学んだ事で、犯罪の増加や治安の悪化、ギャンブル依存症救済等による増税、家庭崩壊にも結び付く可能性がある施設は必要ないと改めて思いました。

三日間を通して、全国の仲間と交流できる素晴らしさを再認識し、歴史や知識の大切さを改めて知ることができました。

このような貴重な会を用意し受け入れてくださった関西地本の皆様ありがとうございました。そして、参加させていただいたすべての方に感謝申し上げます。

関東地方横浜支部日本高速分会  
青年副部長 酒井友樹